

令和4年度

第71回 大垣市美術展目録

と き 令和4年10月15日(土)～23日(日)
午前9時～午後5時
(初日は午前10時から。最終日は午後1時まで)
※休館日:18日(火曜日)

一般の部

日本画 洋画
書(毛筆・篆刻) 彫塑工芸
デザイン 写真

ところ 大垣市スイトピアセンター
展示室4-A,B,3-B,C(文化会館3・4階)

主催 大垣市・大垣市教育委員会
後援 大垣市文化連盟・大垣美術家協会
運営 大垣市美術展運営委員会・(公財)大垣市文化事業団

◎ 日本画

- | | | | | |
|----|------|------------|---|-----------|
| 1 | 市展賞 | 秋 | 香 | 向後ひろ子 |
| 2 | 市長賞 | | 響 | 森 幸 男 |
| 3 | 議長賞 | クメール人の迷い | | 水上 春 嶽 |
| 4 | 教育長賞 | 月下美人 | | 上 田 稔 |
| 5 | 入 選 | グロリオサ | | 野 田 祥 子 |
| 6 | 入 選 | もくれん | | 佐藤美智子 |
| 7 | 入 選 | 唐 辛 | 子 | 子 池 知 里 |
| 8 | 入 選 | 秋 | 望 | 安 部 玲 子 |
| 9 | 入 選 | 日間賀島 | | 広 瀬 美 苗 |
| 10 | 入 選 | 木 | 蓮 | 野 村 恵 美 子 |
| 11 | 入 選 | 五島の椿 | | 吉 田 洋 子 |
| 12 | 入 選 | まつり垂井曳軸 | | 河 合 久 雄 |
| 13 | 特別出品 | 山 | 水 | 石 田 仁 生 |
| 14 | 審査員 | 宙への道 | | 川 島 正 行 |
| 15 | 審査員 | 窓辺の薔薇 | | 稲 葉 彰 |
| 16 | 審査員 | 秋 | 風 | 堀 み どり |
| 17 | 委 嘱 | サザンカ | | 岩 田 順 子 |
| 18 | 委 嘱 | モザイクみたいな街 | | 子 安 兼 次 |
| 19 | 委 嘱 | ジャーマン・アイリス | | 神 谷 千 鶴 |

◎ 洋画

- | | | | | |
|----|------|---------------|---|-----------|
| 1 | 市展賞 | ど ん ど | | 森 多 江 子 |
| 2 | 市長賞 | 理想の君と現実の私 | | 小 鳥 遊 琥 珀 |
| 3 | 議長賞 | 華 や か に | | 吉 田 美 幸 |
| 4 | 教育長賞 | 巖 冬 の 里 山 | | 田 中 満 喜 子 |
| 5 | 優秀賞 | 炎 | 暑 | 磯 崎 裕 子 |
| 6 | 優秀賞 | 秋 穫 | 祭 | 飯 沼 孝 司 |
| 7 | 優秀賞 | 晩 | 夏 | 加 藤 伸 治 |
| 8 | 優秀賞 | 伊 吹 山 | | 小 野 淳 |
| 9 | 奨励賞 | 四天王持国天 | | 磯 部 範 彦 |
| 10 | 奨励賞 | 長等山三井寺の仏 | | 石 見 節 雄 |
| 11 | 奨励賞 | 五月の金比羅宮の参道 | | 岩 田 鉦 吉 |
| 12 | 奨励賞 | 樹 | 魂 | 伊 藤 史 郎 |
| 13 | 奨励賞 | 未来の宝(ザリガニいる?) | | 後 藤 と き 子 |
| 14 | 奨励賞 | 岳 | | 所 陽 子 |
| 15 | 奨励賞 | 花 の 舞 | | 中 野 和 代 |
| 16 | 入 選 | 只今パトロール中 | | 高 木 弘 子 |
| 17 | 入 選 | 舟 祭 り | | 柴 原 数 雄 |
| 18 | 入 選 | やまないかな | | 杉 浦 明 美 |
| 19 | 入 選 | ノスタルジックな通り | | 早 野 純 一 |

20 入 選 無 音 の 中 へ 稲川すま子
 21 入 選 おいたは駄目よ 河本陽子
 22 入 選 高〜い高〜い天まで上がれ! 高橋なをみ
 23 入 選 夢 幻 竹中円香
 24 入 選 自由な世界へ 松岡ひかり
 25 入 選 北 の 漁 場 平 原 学
 26 入 選 朝 靄 樋口廣久
 27 入 選 残 照 白 井 勇
 28 入 選 二人の舞妓さん 林 善 明
 29 入 選 凜 と し て 安田修二
 30 入 選 横 蔵 寺 山口治吉
 31 入 選 木版 晩秋の祖父江 藤田勝秀
 32 入 選 のどかな春日 高橋勝雄
 33 入 選 新緑の上高地サギスゲ群生の田代湿原 玉井紀之
 34 入 選 白いワンピース 村瀬洋子
 35 入 選 紅 い ラ ン プ 高橋温子
 36 入 選 伊織の初節句 河村伸二
 37 入 選 花言葉「高尚」 藤田初美
 38 入 選 異界への入口 古田清光
 39 入 選 伊 吹 夕 景 吉川英子
 40 入 選 夏の思い出 松井久代
 41 入 選 い き づ く 榎原利香
 42 入 選 船 下 り 北野和子
 43 入 選 あるじ無き「柿の木」たち・盛夏・生き物たちの住み家 塚田耕作
 44 入 選 クロトンの木 II 大平進
 45 入 選 振 袖 後藤元吉
 46 審 査 員 赤いコンコルド 伊藤文夫
 47 審 査 員 勢 久野悟
 48 審 査 員 カラスの会話 久保田正剛
 49 審 査 員 抽象・空間を切る 桑原隆一
 50 審 査 員 輝 き 吉川トシ子
 51 委 嘱 角瓶を基本にした構成 酒井要
 52 委 嘱 少 女 鵜飼奈々江

53 委 嘱 水 流 河村隆子
 54 委 嘱 日 向 大野博
 55 委 嘱 能 登 巖 門 III 小藪達也
 56 委 嘱 蒼 蒼 高木みどり
 57 委 嘱 樹 魂 片岡重保
 58 委 嘱 風 の 音 志知正弘
 59 委 嘱 白い太陽C 別れの悲しみ老夫婦 加藤節子
 60 委 嘱 S P A C E 清水ふき子
 61 委 嘱 〈病める現代〉よりアラート 川合時廣

◎ 書(毛筆・篆刻)

1 市展賞 う め は は や 古橋葉子
 2 市長賞 蘇 軾 詩 久保田美州
 3 議長賞 山 里 は 冬 ぞ 石橋遊貴
 4 教育長賞 七 律 一 首 平田真希
 5 優秀賞 「我願生兩翅」韓愈の詩 太田柏葉
 6 奨励賞 七 言 二 句 平田照花
 7 奨励賞 曹 植 詩 武藤藤華
 8 奨励賞 李 商 隱 詩 堤 薫 風
 9 入 選 わ た の は ら 鈴木美智子
 10 入 選 さ れ ば 曙 古橋純
 11 入 選 春 の う ら ら 勝野真
 12 入 選 雲 間 に 昇 り し 竹中武志
 13 入 選 七 言 二 句 桐山祥花
 14 入 選 呉 昌 碩 林節香
 15 入 選 宮 沢 賢 治 の 詩 青木榮俊
 16 入 選 高 適 詩 高井敦史
 17 入 選 杜 甫 詩 北川真峨
 18 入 選 春 日 山 莊 野村昭子
 19 入 選 誓 子 句 集 より 本多梨江
 20 入 選 五 言 律 詩 永野萌香
 21 入 選 藍 仁 詩 坪井英哲
 22 入 選 詠 雪 国枝駿岳

23 入 選 舞 文 弄 法 杉 崎 佳 秀
 24 入 選 喫 茶 養 生 記 よ り 佐 竹 仙 峰
 25 入 選 泣 斬 馬 謬 増 井 茂
 26 特別出品 進 知 習 善 子 安 一 徳
 27 特別出品 ひ ぐ ら し の 聲 早 崎 桂 子
 28 審 査 員 蕪 村 の 句 清 水 澄 園
 29 審 査 員 震 天 動 地 石 原 清 至
 30 審 査 員 七 絶 二 首 岩 間 清 花
 31 審 査 員 天 の 川 北 村 光 苑
 32 審 査 員 書 譜 之 一 節 窪 田 稲 華
 33 委 嘱 七 言 二 句 窪 田 蝶 華
 34 委 嘱 芭 蕉 句 小 川 東 歩
 35 委 嘱 斜 陽 下 平 春 翠
 36 委 嘱 黄 庭 堅 詩 伊 藤 汀 華
 37 委 嘱 精 進 無 涯 浅 野 誉 子
 38 委 嘱 李 白 詩 大 槻 青 藍
 39 委 嘱 七 言 二 句 春 日 井 翠 浦
 40 委 嘱 積 愛 成 福 多 和 田 墨 濤
 41 委 嘱 短 歌 一 首 塩 谷 秀 蘭

◎ 彫 塑 工 芸

1 市 展 賞 能 面 阿 吽 豊 永 幸
 2 市 長 賞 コトに想い 作品に 心かか ぬみ込めた街 澤 村 典 子
 3 議 長 賞 晚 日 吉 田 佐 代 子
 4 教 育 長 賞 新 命 佐 藤 直 人
 5 優 秀 賞 能 面 鼻 瘤 悪 尉 大 江 英
 6 奨 励 賞 今年も伊勢神楽がやって来た(寺内町界隈) 杉 本 明 美
 7 奨 励 賞 能 面 牙 癩 見 中 村 章 太
 8 奨 励 賞 能 面 泥 黒 髭 篠 田 紀 夫
 9 入 選 能 面 翁 (白式尉・黒式尉) 五 井 恵 子
 10 入 選 C A L L A S 加 藤 光 文
 11 入 選 雨 宿 り 国 枝 妙 子
 12 入 選 鯨 増 元 三 好

13 入 選 白 虎 と 赤 富 士 細 川 信 行
 14 入 選 能 面 蛙 箕 浦 浩 二
 15 入 選 七 宝 焼 ハーモニー 馬 淵 た ず 子
 16 入 選 思 い 出 の 地 古 田 則 子
 17 入 選 能 面 赤 平 太 山 田 花 子
 18 入 選 西 明 寺 宇 佐 美 利 夫
 19 入 選 春 近 し (伊吹嶺の残雪溶けて旅に出る) 高 木 巧
 20 入 選 竹 吉 田 良 策
 21 入 選 わた絵 今でも心の中で生きてるよ 堀 田 き よ み
 22 入 選 わ た 絵 ま と 長 尾 よ し み
 23 入 選 共 演 足 立 義 一
 24 入 選 蓼 藍 花 瓶 橋 本 怜 実
 25 入 選 曲 線 刻 文 花 生 伴 野 孝 雄
 26 入 選 無 窮 藤 井 洋 子
 27 審 査 員 能 面 茗 荷 悪 尉 藤 原 久 美 子
 28 審 査 員 空 の 道 清 水 朋 文
 29 審 査 員 能 面 翁 藤 原 善 隆
 30 審 査 員 トンネルの外は晴れ 古 川 優 登
 31 委 嘱 能 面 猩 々 竹 中 正 俊
 32 委 嘱 能 面 小 癩 見 竹 中 秀 子
 33 委 嘱 能 面 髭 景 清 石 飛 智

◎ デ ザ イ ン

1 市 展 賞 花 園 後 藤 元 吉
 2 市 長 賞 冬 化 粧 z y u u b e
 3 議 長 賞 Love x ♡ aiko uragami
 4 教 育 長 賞 茶 会 和 田
 5 優 秀 賞 無 垢 古 川 流 輝
 6 入 選 光 と 水 高 木 智 穂
 7 入 選 私 は 貴 方 で、 貴 方 は 私 小 鳥 遊 琥 珀
 8 入 選 巨 大 害 獣 駆 除 依 頼 山 田 い お り
 9 入 選 初 恋 岡 田 真 弥
 10 入 選 龍 道 士 寸 田 麻 稀

11	入選	紫陽花の国	林歩乃佳	25	入選	冬ざれ	高橋尚武
12	入選	化け狐	山脇彩音	26	入選	今年も豊作を祈って	所聖典
13	入選	支え合う世界の国鳥	關間あいり	27	入選	いざ出番へ!	種田昌史
14	入選	食欲	石川歩	28	入選	ママはどこ?	大橋浩美
15	入選	電鬼	吉田衣吹	29	入選	春よ来い	武内誠
16	審査員	お菓子一民話めぐり	金森一意	30	入選	五月晴れ	小竹隆
17	審査員	風	黒田皇	31	入選	閉ざされた町	福田博文

◎ 写 真

1	市展賞	黄昏の一投	水谷博光	34	入選	出番前	西垣裕行
2	市長賞	日の出を待つ	間部光男	35	入選	未来に向かって	伊藤日出子
3	議長賞	アートに遊ぶ	小寺広幸	36	入選	W.ダイヤモンド富士	馬淵信義
4	教育長賞	水浴び	小竹久子	37	入選	羽化の蟬	五島英明
5	優秀賞	明るい未来へ	谷康二	38	入選	危険察知	安田弘
6	優秀賞	古民家迎春準備	吉田たつ枝	39	入選	凜として	吉田英照
7	優秀賞	旧街道	横山茂昭	40	入選	朝焼け	小田和彦
8	奨励賞	輝く夫婦岩	安田益次	41	入選	花の手柄	田中孝典
9	奨励賞	「愛愛傘」	大久保金行	42	審査員	驟雨	辻堅一郎
10	奨励賞	目覚めの刻	北嶋敏和	43	審査員	シダレザクラ	河瀬貴明
11	奨励賞	僕の出番	宮野公彰	44	審査員	美味工房	小堀富夫
12	奨励賞	早朝の煌き	増田敏明	45	審査員	ヒンドゥー修行者	杉田基
13	奨励賞	雨もようの祭	江上瑠美子	46	審査員	祈りの水音	安田保郎
14	入選	バックライト	高田輝男	47	委嘱	晩秋	小川礼子
15	入選	ランチですよーヤマセミの親と子	片山嘉明	48	委嘱	花街詩情	伊藤正
16	入選	涼しむ親子	中山正敏	49	委嘱	終焉	小川八永子
17	入選	湖畔の家族	木村定昭	50	委嘱	悠久の刻	浅野一範
18	入選	漁師町にて	池田繁行	51	委嘱	染まる	高橋二三夫
19	入選	雪の果て	市村茂雄				
20	入選	秋収む	高木早苗				
21	入選	山里の春	神戸孝司				
22	入選	輝	水谷直男				
23	入選	参道	安田隆一				
24	入選	遊々	西松禮子				

審 査 講 評

総 評

大垣市美術展運営副委員長 久野悟

この3年間、コロナ禍で多くの行事が中止になりました。大垣市美術展も、苦渋の決断により一昨年は中止。昨年は一般の部・青年の部は審査をしたものの展示はせず、入賞作品のホームページ上での公開。幼少年の部は、油絵と書写のみ実施という変則的な開催でした。今年は、爆発的な感染者を出した第7波もようやく下火となり、こうして通常の市展が開催できることを皆様とともに喜び合いたいと思います。

応募総数は222点で、大垣市内在住の方を始め、県内各地からご応募いただきました。昨年に比べ増えたものの、例年に比べると少ない状況です。これはコロナ禍の延長戦なのか、高齢化なのか、それとも等、不安要素でもあります。審査の結果、入賞53点、入選111点、選外58点でした。審査にあたっては、毎年どの部門も公平になるように入選（入賞と入選）率75%以内を原則としています。言い換えれば4人に1人は展示することができません。それだけ厳しい展覧会だけに、作品審査も非常に苦勞します。このように入選と選外では大きな違いがありますが、実際は紙一重の差でした。スポーツのように勝ち負けがはっきりわかる内容ならばともかく、美術を始めとした文化的な作品の場合は、同じ作品でも審査員によって評価が分かれることが往々にしてあります。出品者の価値観の違いが個性となって表れるのですから審査する側の価値観も当然違いがあります。従って、より客観的にみることができるよう複数で審査をしています。なお、作品詳細については、各部門の講評をご覧ください。

入選者はさらに上の賞を目指して、また惜しくも選外とられた方には、どうか紙一重の差を克服し、これからも継続して挑戦してほしいと思います。こうすることが充実した人生並びに美術文化の発展につながるものと確信しております。

日 本 画

主任審査員 川島正行

コロナの影響もあり、出品点数も減り残念に思いますが、心のこもった力作が多く入選枠が決まっている中、厳選となり大変苦勞しました。

市展賞 向後ひろ子「秋香」

描写・表現力に優れ内面から醸し出される豊かな情感を感じる秀作です。

市長賞 森幸男「響」

しっかりとした構図の中、光と影の捉え方が良く生命の響、そして刻を感じる力強さが魅力です。

議長賞 水上春嶽「クメールの迷い」

人物の内面を表情豊かに表現され背景の味のある運筆により空間的一体感のあるユニークな作品です。

教育長賞 上田稔「月下美人」

よく練られた画面構成の中、月下美人の独特の表現で生命力を感じます。

洋画

主任審査員 伊藤文夫

昨年は（コロナの関係）45点の出品と少なかったのですが、今年は61点の応募数があり、安心しました。みな一生懸命描いた作品です。慎重に丁寧な審査をお願いしました。入賞作品15点、入選30点、選外16点、とても厳しい結果でした。市展には会派も流派もいない、試行錯誤を恐れることのない意欲が市民のレベルを押し上げると信じます。会場にて展示されたものを一点一点じっくり見ますと個性ある佳品をかなり見られましたが、個々の作品に造形的な構図の組み立てに弱さを感じた作品もありました。もう一度、出品前に自身で見直して欲しいと思います。

市展賞 森多江子「どんど」

炎の表現に迫力があり、群集像の配置に良く考えた動きがある。

市長賞 小鳥遊琥珀「理想の君と現実の私」

20代の若さが画面に出ていて将来性がある作品ですが、背景の配置を少し工夫してください。

議長賞 吉田美幸「華やかに」

立ポーズも良い、足の運びに動きを感じます。着物の襷も上手く表現されています。

教育長賞 田中満喜子「厳冬の里山」

積雪の中に光と静寂感が感じられる良い作品です。

書（毛筆・篆刻）

主任審査員 清水澄園

コロナ禍の中で開かれた71回展も出品数は減少でしたが、各ジャンルからの力強い出品に、うれしく感じました。

市展賞 古橋葉子「うめははや」

下り藤形式さがのかな作品で、山場の墨纏すみまとめも考慮した上品な作品。

市長賞 久保田美州「蘇軾詩」

二段書きの横作品で、潤滑をうまく取入れた躍動感のある作品。

議長賞 石橋遊貴「山里は冬ぞ」

墨色が料紙とよくマッチして行の流れも美しく、優雅な作品。

教育長賞 平田真希「七律一首」

力強い線で豪快に書かれた若々しい作品。

彫塑工芸

主任審査員 藤原久美子

彫塑工芸は毎年のことながらとても広い分野で様々な出品があり、見方のわからない作品が出品されていて比べることもできない作品も多々あり、とても困ってまいりましたが、今年からは彫絵・陶芸・能面の先生方にプラスして彫塑工芸全体に目を配って頂ける様に、新しく二人の審査員をお迎えすることができました。今までに目の届かなかった作品にも光が当たり、「これからは彫塑工芸への出展も多くなるのでは」と期待できそうです。

入賞された作品は審査員の数が多くなり、合意点が一つになるまでに、何度も話し合っただけの結果の入賞です。努力の報われた方もおありのこととお喜び申し上げます。本当におめでとうございます。

市展賞 豊永幸「能面 阿吽」

市長賞 澤村典子「コロナに想う 作品Ⅲ オミクロンに飲み込まれた街」

議長賞 吉田佐代子「晩日」

教育長賞 佐藤直人「新命」

入賞おめでとうございます。

デザイン

主任審査員 金森一意

近年の傾向として、従来のグラフィックデザイン、あるいはイラストレーションといったものがほとんど影をひそめてしまいました。今、主流は漫画やアニメ的な表現になり、出品もそれが大勢となりました。ゲームとかネットとかを頭においての制作が普通になりました。デザインというものは常にその時代の流れを敏感に反映していくものである以上、当然のことと言えるのでしょうか。

市展賞 後藤元吉「花園」

例年出品されている作者の一連の流れの中で今回、特にその表現、構成、世界観に際立った安定感と迫力を感じます。

市長賞 zyuube「冬化粧」

A3版という小品ですが、作者の卓越したデッサン力と表現、世界観に見るべきものがありました。

議長賞 aiko uragami「Love x ♡」

キリンの表現、柄とか陰影をこまかなフォント（文字群）で構成した試みに新しいものを感じます。

教育長賞 和田「茶会」

たしかなデッサン力、画面構成と表現に物語りを感じます。光と陰のバランスも作者の力量を思わせます。※作品のサイズが大小、極端の結果になりましたが、その中に込められたものの力は、大小に関わらないことが、ご理解いただきたい今回の結果となりました。

写 真

主任審査員 辻堅一郎

今年は審査員に桑原宏吉さんに替わり杉田基さんが加わり総勢5名で審査致しました。

新型コロナ禍もすでに3年、これまでの祭りや行事などの被写体が少なくなりましたが、写真への感性により近所の日常そのものを表現することによりコロナ時代を乗りきりたいですね。

また、新機能を搭載したデジカメの登場で、今までに無い被写体を驚くほどの優れた解像力で描写できるようになり新しい写真表現を期待致します。

応募総数は55点で入賞13点、入選28点となりました。14点の選外作品があり残念です。

市展賞、水谷博光さんの作品「黄昏の一投」は古式豊かに伝統的な漁法を夕刻の川で見事にとらえている秀作です。

審 査 員

《総 評》	久野 悟					
《日 本 画》	◎川島 正行	稲葉 彰	堀 みどり			
《洋 画》	◎伊藤 文夫	久野 悟	久保田正剛	桑原 隆一	吉川トシ子	
《書(毛筆・篆刻)》	◎清水 澄園	石原 清至	岩間 清花	北村 光苑	窪田 稲華	
《彫塑工芸》	◎藤原久美子	清水 朋文	野村 博行	藤原 善隆	古川 優登	
《デザイン》	◎金森 一意	黒田 皇				
《写 真》	◎辻 堅一郎	河瀬 貴明	小堀 富夫	杉田 基	安田 保郎	

(◎印は、今年度各種目の主任審査員)

今年度より委嘱出品につきましては、有資格者に対して隔年での出品を依頼しています。

